

平成 23 年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・後期・B群	
	対象学科・専攻	電子制御工学科	
品質管理 (Quality Control)	担当教員	梶田 悟 (Mokuta, Satoru)	
	教員室	学生共通棟 1 階 非常勤講師室	
	E-Mail	Satoru.Mokuta@jp.sony.com	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位[講義Ⅱ] / 1単位		
週当たりの学習時間と回数	[授業 (50 分) + 自学自習 (100 分)] × 18 回		
[本科目の目標] 工業経営の基本的な概念及び品質管理に必要な諸手法についての基礎的知識を理解、習得させ、これを活用するための技能の習熟を図る。			
[本科目の位置付け] 工場において、生産管理・品質管理・品質改善を担当する場合、業務遂行の基礎となる。			
[学習上の留意点] 生産管理・品質管理・品質改善手法についての全般的な講義となるので、参考書等を利用して、よく整理して理解してほしい。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 工業経営の基礎 (1) 科学的管理法	1	①近代的な工場管理の歴史的背景を理解し説明できる。	講義資料p. 1-p. 7を読み概要を把握しておく。
(2) 企業における組織について	1	②企業における組織の在り方を理解し説明できる。	
2. 生産管理の基本と手法 (1) 生産管理	1	①生産管理に含まれる機能を理解し説明できる。	講義資料p. 8-p. 22を読み概要を把握しておく。
(2) 工程管理	1	②より効率的に製品を作るための手法を理解し応用できる。	
(3) 工程分析	1	③工程を可視化し、ムダを除去する手法を理解し応用できる。	
(4) OR	1	④OR (オペレーションズリサーチ) のPERT手法を理解し応用できる。	
3. ISO9000について	1	①品質管理に関する国際規格ISO9000シリーズを理解し説明できる。	講義資料p. 23-p. 35を読み概要を把握しておく。
--- 中間試験 ---	1	授業項目 1~3 について達成度を確認する。	
4. 品質管理の基本 (1) 測定値 (データ) について	1	①計量値と計数値について理解し説明できる。	講義資料p. 37を読み概要を把握しておく。
(2) 母集団とサンプル		②母集団とサンプルの関係を理解し説明できる。	
5. 品質管理手法 (1) ヒストグラム	2	①ヒストグラムの作り方、及び例題・演習を理解し応用できる。	講義資料p. 38-p. 70を読み概要を把握しておく。
(2) 管理図	2	②管理図の種類、例題、演習を理解し応用できる。	
(3) パレート図	1	③パレート図の例題、演習を理解し応用できる。	
(4) 推定、検定	1	④推定、検定の例題を理解し説明できる。	
(5) 実験計画法、検査について	1	⑤実験計画法の概要、検査の種類を理解し説明できる。	
--- 期末試験 ---	1	授業項目 1~5 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	1	試験において間違った部分を理解できる。	

